



宝永小だより

No.22

福井市宝永小学校
令和7年1月30日

学校教育目標：ひとり立ちできる子 ～心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う児童の育成～
めざす児童像：進んで学び合える子・協力し合える子・心と体を鍛える子・ふるさとを大切にする子

1・2年生 アートカードを通して美術作品鑑賞 1月15日(水)

福井県庁文化課の〇〇〇〇様による出前授業「ふれあいミュージアム」が開催されました。「アートカードで遊ぼう」と題し、美術作品の鑑賞学習を行いました。「アートカード」は、鑑賞学習用の教材で、中世の日本画から現代の写真・造形作品まで、福井県立美術館の所蔵作品から幅広く選定された60枚の作品図版から構成されています。

2年生の教室では、美術館とはどういうところかということを学んだ後、1枚の絵を見て、どんな絵なのかを語り合いました。子どもたちは、想像を膨らませて、多くのことを発表していました。そして、グループごとに、「アートカード」を使って、「〇〇どれ？」というゲームをしました。まず、1問目は、「ふわふわもくもく」という問題です。「せーの。」で、「ふわふわもくもく」に見えるカードを各自が指さし、その絵を選んだ理由を言い合いました。2問目の「わーい、たのしいな」では、子どもたちは、同じカードを指さしました。子どもたちは、「そうだよね。」と言いながら、その絵を選んだ理由を語り合っていました。



<作品を選ぶ2年生の子どもたち>

集中して絵を見て様々なことを感じ取り、言葉にしている子どもたちの感性の豊かさに驚きました。子どもたちは、「カードゲーム」を楽しみながら、福井県立美術館の作品を鑑賞し、多くの作品に親しむことができました。

仲間との充実した「にこフレ」活動



<「にこフレ遊び」の様子>

今年度は、昨年度以上に、多くの「にこフレ」活動を実施してきました。「にこフレ」班は、1～6年生で構成される縦割り班で、今年度は、各班16～17名で構成されています。子どもたちは、学級での活動だけでなく、異学年の仲間と繋がったり、関わり合ったりすることで、温かい人間関係を構築し、その大切さや楽しさを学んでいます。

1月16日(木)の「にこフレ」活動の時間に、「にこフレ」班ごとに写真撮影を行いました。この写真は、「6年生を送る会」の際に、6年生に渡す「メッセージカード」に貼る物です。6年生を中心に、笑顔で写すことができました。その後の「にこフレ遊び」では、「宝永れきしカルタ」・「福笑い」・「すごろく」・「風船羽根つき」など、班ごとに、それぞれの遊びを楽しんでいました。高学年の子は低学年の子に優しく声を掛けたり、一緒に笑い合ったりして、どの班の子どもたちも、にこやかな時間を過ごしていました。

今年度の「にこフレ」班での活動も、残りわずかとなってきました。6年生が主となつての「にこフレ」活動も、この日が最後となりました。残りの「にこフレ」活動でも、今年度のメンバーとの時間を大事にしてほしいと思います。

6年生に感謝の気持ちを伝えるために、1～5年生始動

2月21日(金)に開催予定の「6年生を送る会」の準備が、本格的に始まりました。すでに、各クラスからテーマを募集したり、「メッセージカード」の準備をしたりしました。5年生の子どもたちは、6年生に対して、感謝の気持ちや祝福の気持ちをどのように表現したらよいかを相談し、より具体的な活動に入っています。各学年にも、下記のような準備や当日の役割があります。「6年生を送る会」は、6年生の子どもたちにとって、最後の全校集会になります。1～5年生との触れ合いを一層深め、小学校生活最後のよい思い出になってくれることを願っています。

| | | 各学年の準備や当日の役割 |
|----|------------|--|
| 1年 | メッセージカード記入 | 6年生と一緒に入場、にこフレ教室の飾り作り(出入り口) |
| 2年 | | 6年生へのプレゼント |
| 3年 | | 「明日へつなぐもの」お手本動画作成、体育館飾り作り |
| 4年 | | 「メッセージカード」作り |
| 5年 | | 企画・準備(テーマ決定・お知らせの放送・全体練習など) 進行(司会など)、会場設営(プログラム・飾りなど)、振り返りなど |



<係ごとに話し合う5年生>

5年生 テレビ局の仕事を体験 1月21日(火)



<スタジオの様子>

社会科の「情報化した社会と産業の発展」の学習の一環として、NHK 福井放送局へ出かけました。子どもたちは、日頃、テレビで見慣れた「ニュースザウルスふくい」のスタジオで、ニュース放送の体験をしました。アナウンサーがカメラ目線で原稿を読んでいる理由がわかったり、多くの機械を操作して、工夫を重ねて情報を発信していることを体験したりすることができました。子どもたちは、テレビ局の仕事に関心をもち、学びを深めることができました。

また、子どもたちは、「ニュースザウルスふくい」のタイトルコールの収録にも参加し、その日の18時台の番組の中で、2回に分けて、放送されました。どの子も、素敵な笑顔でした。

「レジリエンス教育」について学ぶ教職員 1月22日(水)

福井県教育総合研究所 教育相談センターの ○ ○ ○ 様にご来校いただき、「幸せを自ら創り出す力を育てる ～レジリエンス教育を通して～」というテーマで講義を受けました。今年度は、これまでに「ポジティブ教育」の中の「ソーシャルスキル教育」と「ピア・サポート活動」について研修を行い、今回が最後の研修となりました。基本的な説明の後、「強み」が記載されているカードを使って、教職員2人組で、「自分の『強み』を見つけよう」という演習を実施しました。



<自分の「強み」は？>

ポジティブ教育を推進することで、教職員の関係性も非常に温かな状況になり、教員の資質も向上してきました。子どもたちだけでなく、教職員にも「居場所づくり・絆づくり」ができあがり、「心身共にたくましく、進んで学び合い、高め合う」教職員の育成(本校の教育目標の教職員バージョン)につながっていると考えています。

4年生 表現で、相手に伝えよう 1月24日(金)

体育科の学習の一環として、「宝永ジャングルクルーズ」と題した表現運動に取り組みました。「ジャングルに入り、途中で猛獣と出会い、戦う。猛獣との戦いを終え、宴を迎える。」というストーリーになっています。このストーリーに合わせた曲は、教員が準備しました。子どもたちには、毎時間、テーマが与えられました。①ゆっくり ②止まる ③大げさに(戦い) ④よろこぶ ⑤どうどうと という各テーマに合った体全身の動きや顔



<「戦い」の場面>

の表情をどうしたらよいかを子どもたちは、グループで考えていきました。他のグループの表現も参考にしながら、よりよい動きを決めていきました。そして、この日の発表では、子どもたちは、緊張しながらも、表情豊かにジャングルクルーズを表現していました。各グループのストーリーが伝わってきました。

<4年児童の振り返り>少しはずかしかったけど、みんな(なかま)で協力してできてよかったです。もう少し足音を大きくしたりして、どうどうとさせてもいいと思いました。わたしは、できるかぎり、わたしの中で、体全身を使えたかなと思います。想どう以上にうまくできて、よかったです。

5年生 箏の音色に魅了 1月27日(月)

子どもたちは、音楽科の「日本の音楽に親しもう」の学習の一環として、和楽器について学んでいます。本校では5面の箏を保持しており、毎年、箏に触れる授業を実施しています。今年も、○○ ○○ 様に、ご来校いただきました。

子どもたちは、実際に爪をつけ、箏の前に座り、基本の所作の説明を受けてから、「さくら さくら」の演奏に挑戦しました。最初は、見慣れない漢数字の楽譜に悪戦苦闘していましたが、そのうちに、きれいな音色を出すことができるようになっていきました。演奏する子の横で、「七七八 七七八 七八九八 七八七六」と楽譜を読み上げながら、



<弦をはじく様子>

仲間に寄り添ったり、声をかけ合ったりするなど、子どもたちの素敵な姿がたくさん見られました。和楽器の音色に癒やされ、新しい発見がいっぱいの充実した時間となりました。

最後に、○○ 様が、「花が咲く」を演奏してくださいました。子どもたちは、先生が奏でる雅な音の響きに聴き入っていました。また、演奏を近くで見ることができたので、指の動きを真剣に見つめ、軽やかな弾き方とその音色の美しさに魅了されていました。

<生演奏に聴き入る様子>

*異物混入に伴い、給食センターでは、11月26日(火)から、人参の使用を停止していました。そして、冬休み明けより、再び、給食に人参が戻ってきました。にんじんは、いろいろな料理に取り入れやすく、きれいなオレンジ色は、給食に彩りを与えてくれる大事なものだことに改めて気付かされました。和え物、炒め物、煮物など、毎日、様々な形で登場する人参を、有難く、「いただきます。」



<1月24日(金)の「天神講給食」>

*令和6年度卒業証書授与式は、3月11日(火)に、令和7年度入学式は、4月8日(火)に举行します。

どちらも、来賓はPTA会長様のみですが、全校児童が参加する予定です。

*本校のホームページ更新を再開しました。この「宝永小だより」のカラー版は、「宝永っ子の一日」とともに、本校のホームページでご覧ください。お手数をおかけしますが、よろしくお願ひします。 <http://www.fukui-city.ed.jp/houei-e/>

ご飯・牛乳・白菜の煮浸し・かわいいの磯辺フライ・ピリ辛豚汁

*「福井ユナイテッドFC」様から、「キッズ応援プロジェクト サッカーしよっさ」企画として、サッカーボールを2個、寄贈していただきました。チームのご活躍を応援するとともに、子どもたちが身体を動かすきっかけになることを願っています。



*インフルエンザ感染に伴う学級閉鎖等で、保護者の皆様には多大なるご心配やご負担をおかけしています。本校では、今後も、感染対策を講じた上で教育活動を進めていきたいと考えています。ご家庭でも、引き続き、ご協力をよろしくお願ひします。